

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



ボランティアニュース

210号 2021年4月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦典

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

わたしたちの気持ちを温めてくれるボランティア

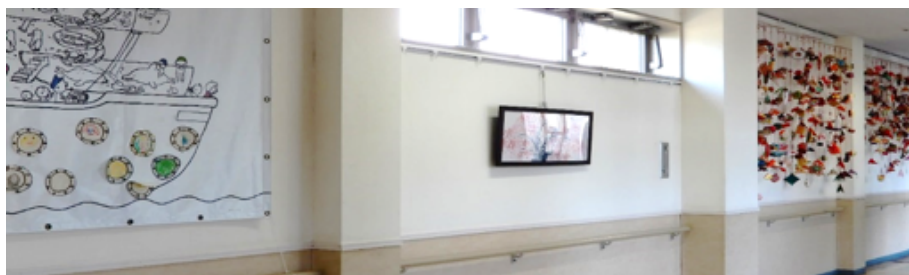
病院長 後藤 裕明



こんにちは。4月から新病院長に就任した後藤と申します。こども医療センターでは、小児がんセンター、血液・腫瘍科に所属し、主に小児がんの内科治療を担当してきました。血液・腫瘍科は本館5階フロアで診療を行うことが多いのですが、5階デイルームで行われてきたきょうだい児預かり保育も、コロナ禍のために休止されて久しくなりました。5階に上がるたびにデイルームから聞こえる、にぎやかな笑い声に和まされてきたのに、寂しい限りです。病院内の様々な活動が同様に制限される中、それでも変わらず、ボランティアの皆さんの手による季節ごとの飾りつけは、荒みがちになるわたしたちの気持ちを温めてくれます。手ぬぐいアートフレームはわたしのお気に入りのひとつで、中でも、「パンダのカフェ」を見るとなぜか無性に自分もコーヒーが飲みたくなります。ボランティアの皆さん、次の秋にもぜひ、飾ってください。

コロナが終わったら・・・は、誰もが今、考えずにいられないことだと思いますが、体育館でのフットサル教室はコロナが終わったらぜひ、再開してほしい活動のひとつです。教室の発起人である久光重貴さんは残念ながら昨年、他界されましたが、同志の方々は久光さんの意志をついで活動を再開したいとおっしゃってくれました。療養中であっても、仲間と一緒に体を動かす楽しさを経験する、素晴らしい機会ですので、わたしたちもこの活動を応援し続けたいと思います。一昨年のフットサルイベントでは張り切りすぎて、不覚にも人生初めての肉離れを経験してしまいましたが、活動が再開された暁にはしっかり体を作って（それでは遅いか）、こどもたちと一緒にボールを追いたいと思います！

すべてのこどもたちと、そのご家族に笑顔を届けるという目標に向かって、ボランティアの皆さんと手を携えて歩んでいきたいと思っています。これからもどうぞ、よろしくお願いいたします。



(写真は新館から管理棟への通路の飾りつけ)

いくつものつるし雛輪飾りが総合待合に飾られ、患者さんご家族が、受付での体温測定を終え、つるし雛を楽しそうに見上げている光景を見て、私自身も春を感じ、穏やかな気持ちになります。季節の飾り付けは緊急事態宣言を受け、予定を大幅に変更し、3密を避け、飾り付けのお手伝いボランティア人数を減らして行なわれました。ボランティアの皆様には、急な対応による連絡不足、不手際などをお詫びいたします。

最近では、コロナ変異株なども確認されており、まだまだ緊張を強いられる生活ですが、コロナ禍でも患者さん、ご家族の皆様が季節の移ろいを感じていただけるように、5月の節句飾りを行う予定です。ボランティアの皆さんも以前のように、活発な活動はできませんが、患者さんの笑顔を思い浮かべながら自宅で作品作りに励んでいます。昨年、オレンジクラブ在宅ボランティアも登場しました。自宅でエネルギーに、病棟のおこさんにお渡ししたクリスマスカードを作り、最近では、入院患者さんのごきょうだいが遊べるキット作成に励んでいます。今も病棟に直接入る活動はできませんが、それでも各グループの皆さんが知恵を絞って、DVDをお渡ししたり、入院中のおこ様が、オリジナルステッカーを作ったり、絵本を2週間に1度病棟に届けたりと、緊急事態宣言が解除されている間は、できる事を積極的に見つけて、手探りで活動をしました。おこさんが入院中のお母様は、どうしていらっしゃるのだろう、きっと不安なお気持ちで過ごされているのだろうと思いを寄せながら、御回復を祈り、患者さんご家族に寄り添う気持ちを持ち続けるボランティアさんもいます。直接患者さんご家族と触れ合う機会は奪われてしまいましたが、コロナウイルスは、オレンジクラブのボランティアさんの優しい想いを奪うことはできません。きっとコロナ感染症が終息した後は、オレンジクラブの皆様が、一段とたくましくなって活動再開できると感じています。

本年度の活動も、昨年同様コロナ禍における活動となりますが、皆様に配布しましたオレンジクラブの基本方針に従い進めてまいります。刻々と状況も変化すると思いますが、皆様が、安全安心に活動出来ますよう加藤コーディネーターと協力して、センター長、病院長と、最新の情報共有に努めてまいります。直接皆様とお会いしてコミュニケーションが取れず、連絡等行き違いが生じてしまう場面もあるかと思いますが、どうか皆様ご遠慮なくご意見をいただければと思います。今後も、運営会議や調整会議は、リモート開催を予定しています。リモート会議中、皆様のお元氣なお顔を拝見し、声を聞けるとホット安心し、私自身勇気が湧いてきます。

コロナウイルス緊急事態宣言が解除されている間は、各グループ活動が再開されます。どうかオレンジクラブの皆様、お身体に気をつけてください。本年度も、皆さんで力を合わせて活動してまいりましょう。「おこさんと、ご家族の元氣と笑顔のために」



きょうだいさんのための魚釣りキット(在宅活動)



リモートでのボランティア運営会議の様子

渡り廊下の正月飾りのネットから子どもたち、ご家族の願いが書かれ重くなった絵馬が外され、ボランティア室に帰ってきました。子どもたちが書いたお願いごとには、自分のことだけでなく、お友達、ご家族のことも書かれていて優しさにあふれています。

昨年末、作業グループでは恒例の絵馬作りを行いました。コロナ禍で集まる人数も回数も制限される中、子どもたちの好きなキャラクター、干支の牛のシールを貼って、十分な枚数を揃え、お願いごとが書かれた絵馬がネットに下げられるのを想像しながら作成していました。

作業グループは縁の下の力持ち、実際に子どもたちが今何に興味をもっているか知る機会がありません。いつもと違って、コロナ禍でも子どもたちが目にとめてくれるか気にかかっていました。その時、作業グループの仲間以外来活動もしているMさんが、「今、子どもは鬼滅の刃が大好き!」と情報を提供してくれました。そのおかげで、急遽、鬼滅の刃のシールも絵馬のデザインに追加することができました。コロナ禍で、限られた人数で飾りつけを行ったため、私自身飾りつけに参加することができなく、その後も、子どもたちが絵馬にお願いごとを書いている姿を見る機会がなく残念な思いをしましたが、後から聞くと、子どもたちは渡り廊下の絵馬のネットに「鬼滅だー!」とうれしそうに足早に駆け寄って、ご家族と一緒にお願いごとを書いていたことを聞き、うれしくなりました。子どもたちは非日常にワクワクします。その様子が目に見えるようです。

お正月飾り、雛飾りも終わって、今度は5月人形飾りです。先日、5月飾りの準備でリーダーのお手伝いをしました。つるし雛、季節の手ぬぐい飾り、絵の整理を行っているとき、どんな展示が見る人の心を癒すのかなど作業しながら会話していました。オレンジクラブは各グループが異なる空間で作業している上に、コロナ禍で情報共有や情報交換が益々難しくなっています。

今回の絵馬の経験からも、グループ間での意見交換ができるようになれば、もっと子どもたちに笑顔が届けられるのではないかと思います。

ぽぽんたトピック

きくちゃん

3月21日に緊急事態宣言が全国解除されたが実感はない。感染者数は相変わらず多い。今はワクチンの早期接種とその効果に期待したい。

医療センター内の季節飾りはお雛様と吊るし雛で春の華やかさと暖かさを感じさせてくれる。4月の上旬には5月飾りに変わるので、その準備に仲間と夫と出かけた。爽やかな5月の風をセンター内に運ぶ用意だ。いつもこの時期は「世界のこどもの絵」を飾っている。50枚のこの絵は、辻堂の平和学園小学校からお借りしているものだ。紙質やサイズはいろいろで、水性絵の具、色鉛筆、クレヨン、墨などで描かれている。Mさんと国名 国旗 作者の年齢を付けて額装した(写真)。一枚一枚の絵でその国の様子が垣間見られる。子ども達が牛や象などと働く姿があったり、アジアの絵はお釈迦さまのお祭りが色鮮やかに描かれていて楽しい。印象に焼き付いたのは、戦闘を描いたものだ。日本の子どもには、きっとゲームの世界だろう。でもこの絵を描いたこの国の子ども達には現実なのだ。(この絵は飾れなかった) 平和学園小学校からお借りして数年になる。そろそろお返ししなくっちゃ。



ボランティアコーディネーターから

2020年初めから今まで、そしてまだしばらくの間新型コロナウイルスとの闘いです。

この1年、「ボランティアは不要不急か?」「今できる事は何か?」「このままでいいのか?」と悩むことが多くありました。この中で何が大事で、何が必要かを歴史と経験から学び、皆で知恵を出し合い、行動していく事が求められると思います。

2018年「病気の子ども支援ネット遊びのボランティア」代表の坂上氏が発起人となり「ボラコの会」を立ち上げました。今、沖縄や大阪・神奈川・埼玉・宮城等の小児専門病院のボランティアコーディネーター達が情報交換をし、コロナ禍でのボランティア活動について模索しています。各病院で相談した事や実施している事等の情報は、とても参考になっています。2021年度からは、ボランティアも含めて子どもの病院「ボラン・ボラコの会」になりました。オレンジクラブも一緒に参加する予定です。経験のないこの「災害」に立ち向かい、病気の子どもやご家族の為に取り組むために多くの人たちと繋がっていきます。ボランティアコーディネーターとして、ボランティアさんの意向・自主性を大切に、病院内の声を拾い上げ、社会と病院を繋げていく役割を取っていききたいと思います。

今迄の当たり前が、こういう経験を乗り越えて少し変わっていくと思います。先行き不透明な中でも、子どもたちは成長発達していきますし、また新たに病院にかかる方もたくさんおられるでしょう。4月神奈川こども医療センターにも、新採用の人達が大勢入職しました。新人の方も在職の方も、ボランティアの方も一緒に、センターを利用される皆様に「安心して利用できるね。いい病院だね。ボランティアさんもいていいね。」と思ってもらえるようにしていきましょう。(加藤 悦興)

2021年度のボランティアに関する予定

*感染対策の元で活動。感染状況によっては予定変更がある。*会議は基本的にオンライン

*各グループは年間活動報告と会計報告を2月末までに提出する。

*チャリティーバザー中止・研修会は感染状況で判断 *神奈川県立保健福祉大学チャイルドウィッシュ研修会未定

| | | | |
|------------|-----|------------|----------------------------|
| 2021年5月10日 | 月曜日 | ボランティア調整会議 | |
| 5月29日 | 土曜日 | 七夕飾り | 総合待合ホール・渡り廊下・3階本館～周産期棟渡り廊下 |
| 6月7日 | 月曜日 | ボランティア運営会議 | |
| 7月17日 | 土曜日 | 夏飾り(予定) | |
| 9月13日 | 月曜日 | ボランティア調整会議 | |
| 11月6日 | 土曜日 | クリスマス飾り | 総合待合ホール、他のツリー・廊下飾り |
| 12月26日 | 日曜日 | お正月飾り | 総合待合ホール、渡り廊下の絵馬、他 |
| 2022年1月29日 | 土曜日 | お雛様飾り | 輪飾り・雛壇・つるし飾り |
| 2月7日 | 月曜日 | ボランティア調整会議 | |
| 3月7日 | 月曜日 | ボランティア運営会議 | |
| 4月2日 | 土曜日 | 5月飾り | 総合待合ホール渡り廊下他 |



屋上庭園(左)と重心施設「ひだまり」のお庭、手入れは園芸グループの皆さん、右はフラワーアレンジメント